

町民意識調査

問番号	項目	国	三重県	前回調査	新規項目	備考
属性（あなた自身のことについて）						
問1	性別			○		
問2	年齢			○		
問3	家族構成			○		
問4	居住地区			○		
男女平等について						
問5	「男は仕事、女は家庭」という考え方に対する意識	○	○	○		
問6	男の子と女の子のしつけや教育についてどう思うか			○		
問7①	「男女共同参画社会」の認知度				○	各用語の認知度を把握し、今後の啓発等に活かすために設定。 （「LGBTQ」「SOGIE」は県調査では「LGBT」「SOGI」で認知度を聞いている。）
問7②	「性別役割分担意識」の認知度				○	
問7③	「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度				○	
問7④	「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」の認知度				○	
問7⑤	「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」の認知度				○	
問7⑥	「女性のエンパワーメント」の認知度				○	
問7⑦	「配偶者等からの暴力（DV）（ドメスティックバイオレンス）」の認知度				○	
問7⑧	「デートDV」の認知度				○	
問7⑨	「セクシュアルハラスメント」の認知度				○	
問7⑩	「パワーハラスメント」の認知度				○	
問7⑪	「マタニティハラスメント」の認知度		○		○	
問7⑫	「パタニティハラスメント」の認知度		○		○	
問7⑬	「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の認知度				○	
問7⑭	「LGBTQ」の認知度		△		○	
問7⑮	「SOGIE」の認知度		△		○	
問8A	「家庭のなかで」の男女の平等感	○	○	○		
問8B	「職場のなかで」の男女の平等感	○	○	○		
問8C	「学校のなかで」の男女の平等感	○	○	○		
問8D	「地域のなかで」の男女の平等感	○	○	○		
問8E	「社会通念や風潮で」の男女の平等感	○	○	○		
問8F	「法律や制度の上で」の男女の平等感	○	○	○		
問8G	「政治（政策決定）の場で」の男女の平等感	○	○	○		
問8H	「社会全体で」の男女の平等感	○	○	○		
家庭生活について						
問9	婚姻状況			○		
問10A	「食事の支度・後片付け」の夫婦・パートナー間での役割			○		前回「食事の支度」「食事の後片付け」
問10B	「家の掃除」の夫婦・パートナー間での役割			○		
問10C	「買い物」の夫婦・パートナー間での役割			○		
問10D	「日常の金銭管理」の夫婦・パートナー間での役割			○		
問10E	「ゴミ捨て」の夫婦・パートナー間での役割			○		
問10F	「洗濯」の夫婦・パートナー間での役割			○		
問10G	「生活費の確保」の夫婦・パートナー間での役割			○		
問10H	「親戚とのつきあい」の夫婦・パートナー間での役割			○		
問10I	「地域・近所とのつきあい」の夫婦・パートナー間での役割			○		前回「PTAや地域の行事参加」「近所とのつきあい」
問11	小学生以下の子どもの有無			○		
問12	平日の日の中の養育者（※問11「乳児・就学前の幼児がいる」回答者）			○		
問13	日常的に手助けが必要な方（高齢者や障がいのある方など）の有無			○		
問14	日常的に手助けが必要な方を手助けしている者（※問13「いる」回答者）			○		
問15	男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージを持っているか			○		
問16	男性が家事・育児や教育、介護、地域活動などに積極的に参加するために必要なこと			○		
問17①	家庭生活と自分の活動について、「現実」に最も近いもの			○		
問17②	家庭生活と自分の活動について、「希望」として最も近いもの			○		
問17③	家庭生活と自分の活動について、「配偶者・パートナーに対する希望」			○		

問番号		国	三重県	前回調査	新規項目	備考
職業生活について						
問18	現在、収入を得る仕事（産前・産後休暇、育児・介護休業中も含む）をしているか			○		
問19	勤務形態（※問18「している」回答者）			○		
問20	現在の就業形態を選択した理由（※問19「非正規・派遣・契約社員」回答者）			○		
問21	職場での男女平等（※問19「非正規・派遣・契約社員」回答者）			○		
問22	男女が平等だと思わないのは、なぜか（※問21「優遇されていると思う」回答者）			○		
問23A	育児休業制度の利用経験・認知状況（※問18「（収入を得る仕事を）している」回答者）			○		
問23B	介護休業制度の利用経験・認知状況（※問18「（収入を得る仕事を）している」回答者）			○		
問24	その理由（※問23A B「利用したくても難しいと思う」回答者）			○		
問25	現在の状況（※問18「（収入を得る仕事を）していない」回答者）			○		
問26	過去に収入を得る仕事をしたことがあるか（※問18「（収入を得る仕事を）していない」回答者）		○	○		
問27	離職した理由（※問26「はい（過去に収入を得る仕事をしたことがある）」回答者）		○	○		
問28	今後、働きたいと思うか（※問18「（収入を得る仕事を）していない」回答者）		○	○		
問29	どのような勤務形態で働きたいか（※問28「今すぐにも働きたい」回答者）			○		
問30	働きたいと思う理由（※問28「今すぐにも働きたい」回答者）			○		
女性の活躍について						
問31	女性の職業へのかかり方について、どのような形が最も望ましいと思うか			○		
問32	その理由（※問31「女性は職業を持たない、結婚・子どもができるまで職業を持つ」回答者）			○		
問33	その理由（※問31「子育てが落ち着いたら再び職業を持つ、子どもができても続ける」回答者）			○		
問34	現在より仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるならどう考えるか（※問31「子育てが落ち着いたら再び職業を持つ」回答者）		○	○		
問35	現在女性が働きやすい状況にあると思うか		○	○		
問36	そう思わない理由（※問35「（女性が働きやすいと）思わない」回答者）			○		
問37	女性が働き続けていく上で必要だと思うこと			○		
問38	女性の活躍が進むために、必要だと思う家族や社会などからの配慮や取り組み				○	女性活躍を進めていく上で、家庭や地域・社会において必要な取り組みの検討に活用するために設定。
DV（ドメスティックバイオレンス）などの暴力について						
問39	配偶者や恋人から、身体的・精神的・性的・経済的暴力を受けたことがあるか			○		
問40	どのような暴力を受けたか（※問39「あった」回答者）			○		
問41	配偶者や恋人からの暴力について、誰かに打ち明けたり、相談したか（※問39「あった」回答者）			○		
問42	配偶者や恋人からの暴力を受けた時に相談できる機関や関係者で知っているもの			○		
問43	児童虐待を防止するために必要なこと				○	面前提問の問題や児童虐待対策が強化されていることなどをを受けて、その防止に必要なことについておながいするために設定。
マタハラ、バタハラ、セクハラについて						
問44A	「マタニティハラスメント」の言葉の認知度			○		
問44B	「バタニティハラスメント」の言葉の認知度			○		
問45	自身やあなたの周囲で、職場におけるマタニティハラスメントを経験した人はいるか			○		
問46	自身やあなたの周囲で、職場におけるバタニティハラスメントを経験した人はいるか			○		
問47	職場でマタニティハラスメント、バタニティハラスメントが起こる原因			○		
問48	職場でセクシュアルハラスメントを受けたことや、見たり聞いたりしたことがあるか			○		
問49	誰かに打ち明けたり、相談したりしたか（※問48「受けた、見聞きしたことがある」回答者）			○		
防災・災害復興対策などについて						
問50	防災・災害復興対策で男女共同参画の視点から取り組む必要があると思うもの				○	近年、男女共同参画の視点からの防災・災害復興対策が重視されている中で、必要な取り組みをおながいし、施策検討に活かすために設定。

問番号		国	三重県	前回調査	新規項目	備考
多様な性について						
問51	多様な性への理解について、特に課題だと思うこと				○	近年、多様な性への理解が重視されている中で、理解促進に向けて課題であると思うことをお聞きし、施策検討に活かすために設定。
問52	「パートナーシップ制度」の認知度				○	県下でも「パートナーシップ制度」の導入が進められている中、その認知度についてお聞きするために設定。
問53	「パートナーシップ制度」に関する考え				○	「パートナーシップ制度」の導入に対する考えをお聞きし、今後の施策検討に活かすために設定。
男女共同参画社会づくりについて						
問54	男女共同参画社会を推進するために、国や県、市町村で力をいれていくこと				○	
	男女共同参画社会を実現するにあたって町に期待する取り組みについての自由回答				○	

事業所調査

問番号	項目	前回調査	新規項目	備考
事業所の従業員状況について				
★①	企業名	○		
★②	担当者名	○		
★③	連絡先 (TEL、E-mail)	○		
★④	事業所の性格	○		
★⑤	労働組合の有無	○		
★	常時雇用者の人数 (正社員・非正社員・派遣 (契約) 社員)	○		
★	常時雇用者の平均年齢 (正社員・非正社員・派遣 (契約) 社員)		○	基礎事項として追加。
女性管理職の登用について				
問1	管理職の人数 (うち、女性管理職の人数)	○		
問1	女性管理職の割合		○	次設問につなげるために設定。
問2	女性管理職が少ない理由 (※問1「女性管理職の割合30.0%未満」回答者)	△		(前回調査では、「女性管理職の割合30.0%未満」のみ回答という制限は設けていない。)
問3	女性管理職の今後3年程度の登用方針	○		
問3※	その理由 (※問3「増やす予定、現状のまま、減らす予定」回答者)	○		
問4	女性の登用や能力開発・発揮に関する取り組みの実施状況	○		
問5	取り組む予定がない理由 (※問4「取り組む予定がない」回答者)		○	取り組む予定がない理由をおうかがいし、今後の施策検討に活かすために設定。
問6	女性も男性も同じような環境で働いていくために、特に女性にとって課題となっていること	○		
育児や介護を行う従業員の「仕事と家庭の両立支援」について				
問7	結婚や妊娠・出産・育児・介護等のために退職した女性を、その後一定の条件を満たせば再雇用する制度を設けているか	○		
問8	就業規則等により明文化されている育児・介護休業制度の規定の有無	○		
問8※	規定の休業可能期間・日数 (※問8「就業規則や労働契約、内規等に明文化している」回答者)	○		
問9	昨年1年間の育児休業・介護休業の取得状況 (男女別の人数と総取得日数)	○		
問10	育児・介護休業制度の活用を進めていく上での課題	○		
問11①	「時間外労働の免除または制限」の取り組み状況	○		
問11②	「勤務時間の短縮」の取り組み状況	○		
問11③	「始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ制度の導入」の取り組み状況	○		
問11④	「育児時間制度や介護時間制度の導入」の取り組み状況	○		
問11⑤	「フレックスタイム制の導入」の取り組み状況	○		
問11⑥	「子どもの看護休暇制度の導入」の取り組み状況	○		
問11⑦	「制度を利用しやすい雰囲気づくり」の取り組み状況	○		
問11⑧	「所定内の労働の免除」の取り組み状況	○		
問11⑨	「出産・育児・介護等に対する経費の援助」の取り組み状況	○		
問11⑩	「仕事と家庭の両立に関する相談窓口や担当者の設置」の取り組み状況	○		
問11⑪	「事業所内に託児施設の設置」の取り組み状況	○		
問11⑫	「在宅勤務制度の導入」の取り組み状況	○		
問11⑬	「育児・介護休業者への職場復帰プログラム」の取り組み状況	○		
問12	取り組む予定がない理由 (※問11「取り組む予定がない」回答者)		○	取り組む予定がない理由をおうかがいし、今後の施策検討に活かすために設定。
問13	問11のような配慮について、男性従業員も利用しやすい環境づくりを進めているか	○		
問14	令和元年5月29日改正「女性活躍推進法」による、101人以上雇用する事業主への「①自社の女性の活躍状況の把握・課題分析」「②行動計画の策定・届出」「③情報公表」等の義務化の認知度	△		(前回調査では、平成28年4月1日施行時の301人以上雇用の事業主への義務化について認知度をたずねる設問)
職場でのハラスメント等の防止について				
問15	職場におけるセクシュアルハラスメントを防止するために取り組んでいること	○		
問16	職場でマタニティハラスメント、パタニティハラスメントが起こる原因	○		
問17	ハラスメントに関する相談等を従業員から受けたこと等の有無		○	ハラスメントの実態についておうかがいするために設定。
多様な人材の活躍について				
問18	ダイバーシティの取り組みを進めているか		○	町内企業のダイバーシティに関する取り組みの状況やその認知度をおうかがいするために設定。
新型コロナウイルス感染症の影響について				
問19	新型コロナウイルス感染症による影響はどのようなものがあったか		○	新型コロナウイルス感染症がプラス面・マイナス面の両面でどのように影響したかをおうかがいするために設定。
自由回答				
問20	自治体に期待する役割や取り組みについての自由回答	○		